



アドビシステムズ社、 IBC2009 において革新的なビデオ技術を発表

魅力的なコンテンツ制作とコンテンツ事業を支援する新たな方法を提供

【2009年9月11日】

米国カリフォルニア州サンノゼ、オランダ アムステルダム発（2009年9月10日）Adobe Systems Incorporated（NASDAQ: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）は、2009 国際放送見本市（IBC2009）において、放送局やメディア企業に総合的なエンドツーエンドのワークフローを提供する、最新のビデオおよびダイナミックメディアソフトウェア技術を展示しています。展示のハイライトは、オンラインとオフラインのどちらでも使用でき、複数のメンバーでコラボレーションしながら、映像制作の企画・プリプロダクション段階から制作作業を始めることができるスクリプト（台本）制作ツール Adobe® Story™の公開ベータ版と、コンテンツの配信と課金を可能にすることで放送局やメディア企業に新たな収益源をもたらすコンテンツ保護ソリューション Adobe Flash® Access 2.0 です。

アドビシステムズ社は9月11日（金）から15日（火）までの間、IBC 2009 が開催されているオランダ、アムステルダムの RAI Convention Center の同社ブース（ホール7、スタンド H.23）で、新しいソリューションの紹介と主要なユーザーおよびパートナーを対象にプログラムのデモを行います。

アドビシステムズ社 ダイナミックメディア部門 バイスプレジデント兼ゼネラル マネージャーのジム ジェラルド（Jim Guerard）は、「アドビシステムズ社はスクリプトからスクリーンまで、ビデオワークフローの改革と合理化を進めています。これはユーザーがワークフローの効率を高め、より魅力あるコンテンツを視聴者に提供し、またビジネスモデルの収益力を高めるための取り組みです。コンテンツ制作から配信や再生まで、アドビシステムズ社は放送業界をはじめとするメディア関係のユーザーとともに放送・メディア業界を牽引し、このデジタルビデオ産業が表現力豊かなメディアを作成、配信するための革新的な方法を提供しています」と述べています。

合理化されたビデオワークフローの未来を追及

アドビシステムズ社はユーザーにさらに豊かなビデオ視聴体験を提供するために魅力あるコンテンツを作り出し、コンテンツを中心にビジネスを構築するための新たな方法を提供します。Adobe Labs からの公開ベータ版提供が始まるスクリプト（台本）制作ツール Adobe Story は、映像制作ワークフローの企画・プリプロダクション段階において利用することで、台本の情報をワークフロー全体を通して利用することができるメタデータへと自動的に変換することができ、映像制作ワークフローを合理化します。コンテンツが作成され、配信の準備が整った後は、従来 Flash Media Rights Management Server として知られていた Flash Access 2.0 が、新しいプレミアムコンテンツの拡張、配信、および課金を可能にする拡張性と柔軟性を備えたコンテンツ保護ソリューションを提供します。

ダイナミック メディア ワークフローを推進するユーザー

アドビ システムズ社は、今回の展示会において新しいソフトウェア技術 の提供に加え、その顧客企業である世界有数のメディア企業がどのようにダイナミック メディア ワークフローの拡大と革新に取り組んでいるかを紹介します。さらにそれらの企業がアドビ システムズ社のエンドツーエンドのビデオ ワークフローを使って顧客を獲得し、ビジネスを構築しているか、そし革新的で魅力ある方法によりコンテンツを提示しているかについて展示します。

ノーベル財団の公式 Web サイト Nobelprize.org では、Adobe Creative Suite® 4 Production Premium がビデオ制作のための、また Adobe Flash Platform がビデオ コンテンツのオンライン配信のための標準的ソリューションとなっています。Hearst Television はアドビ システムズ社と協力し、中核となる報道制作システムと連携する次世代のテーブルレス報道編集ソリューションの開発を行っています。

Cinema DNG の取組を牽引

IBC 2009 において、アドビ システムズ社は CinemaDNG の普及・推進への取り組みを継続しています。CinemaDNG は、ワークフローの合理化とファイルのアーカイブや交換作業の効率化を実現するオープンなデジタル シネマ ファイル フォーマットの定義を目指す取り組みです。アドビ システムズ社は、他の参加企業とともに CinemaDNG 規格を制定したほか、Adobe After Effects® CS4 と Adobe Premiere® Pro CS4 の CinemaDNG プラグインを Adobe Labs にてオンライン公開しました。

企画段階から再生までを網羅する技術的リーダーシップ

IBC に参加している世界中の大手放送局やメディア企業は、高品質でダイナミックなメディア コンテンツの作成にアドビ システムズ社のビデオ ソリューションを採用しています。Adobe Creative Suite 4 Production Premium はポストプロダクションにおいて、ビデオ、オーディオ、および双方向メディアを作成するクリエイティブ プロフェッショナルに完全なソリューションを提供します。Adobe Flash Platform は、オンライン で配信される Web ビデオにおいて最も使用されている技術です。米国の調査会社 comScore Media Metrix によれば、世界中で視聴されているオンライン ビデオの約 75% が Adobe Flash 技術を使って配信されています。Adobe Flash Player はインターネットに接続されたデスクトップの 98% 以上にインストールされているため、ユーザーは新たにソフトウェアをダウンロードすることなく表現力豊かなコンテンツの閲覧が可能です。

* 米国の独立系調査会社の comScore による 2009 年 7 月付けデータ

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に革新をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Premiere、Adobe Story、After Effects、Creative Suite、および Flash は米国またはその他の国またはその両方において Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。その他の商標はすべてそれぞれの所有者の資産です。

(C) 2009 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.